

'87年の新春を迎えて — 栄養士の21世紀への対応 —

(社)山梨県栄養士会長 深山 武

会員の皆さん方には、ますますご壮健で1987年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、私ども栄養士にとって、誠に意義深い年でした。それは、本会会員が一体となって第41回国民体育大会かいじ国体に協力したことで栄養士法並びに栄養改善法の一部改正を成し遂げたことであります。

国体については、足かけ3年に亘り、標準献立の作成から調理指導に当り、その結果、かいじ国体実行委員会々長山梨県知事より、又、ふれあいのかいじ国体(全国身体障害者スポーツ大会)についても、山梨県実行委員会々長である望月山梨県知事よりそれぞれ感謝状を戴いた次第であります。

法改正については、昭和38年管理栄養士制度が作られてから、20余年に亘り、全国の会員の仲間と共に改正運動を続けた結果、曲りなりにも管理栄養士国家試験とその必置の拡大等一部改正されたことはご承知のとおりであります。

曲りなりにもと云うのは、私たちの法改正の要求は、栄養士の養成は学校教育法による大学で行い、栄養士の免許はすべて、国試験合格者に対して行うこととし、栄養指導業務(栄養士の業務)は栄養士の独占業務として、必置規定を拡大すること等にありましたのに、栄養指導者が栄養士と管理栄養士の二重構造を解消することができなくて、然かも、栄

(2頁へ続く)

栄養やまなし

〒400
甲府市丸の内
二丁目38-8
山梨県栄養士会
☎ 0552-22-8593

No. 22
62年1月

1. 巻頭あいさつ	1 頁
2. コンピューター栽培と緑野菜物語	3 頁
3. 昭和61年度「管理栄養士国家試験合格者の受験体験」	4 頁
4. 過去の出題傾向を重点に学習	5 頁
5. 初心に帰って	5 頁
6. 健康づくり米食栄養学術講習会を開催して	7 頁
7. 事務局だより	7 頁
8. 編集後記	8 頁

1月25日(日)は、山梨県知事選挙の投票日です。

棄権は権利の放棄です。

必ず投票しましょう。

養士の資格、獲得に国家試験が行われないことは、栄養指導者全員の均等な資質のレベルアップが、ますます困難なものとなったことであります。

近年、「21世紀を迎えるに当って」「21世紀に備えて」と云うような文言が、非常に多く見聞されるようになりました。もう11年経てば当然21世紀になること間違いないことであるのに、なぜ、21世紀、21世紀と騒ぎたてるのでしょうか。それは、21世紀は単なる20世紀の延長ではなくて、画期的な世代への突入であると思考されるからであります。即ち、人口高齢化、科学の急進、情報氾濫、生活の多様化等々猛烈な構造変革の渦巻く世代への対応に迫られるからであります。これに完璧に対応し、総合福祉の社会を創造する基根となるものは、人的パワーであり、その結集した力であります。一人一人が、それぞれの地域、職域において、各自の能力を研鑽し、その力を結集して対応することが強く要請されます。

それなら、栄養指導者である栄養士のある可き姿とは何か。今回の法改正が衆参両院において全員一致で可決成立したのは、国民の健康志向の昂りのなかで栄養指導者への認識が改められ、その均等的資質の向上を求める世論の結果であります。私どもはこの世論に応えなければなりません。

栄養士が、激動する21世紀に備えて、これに対応するために管理栄養士、栄養士の区別なく各自が自己研鑽励まなければなりません、栄養士は日常の業務を管理栄養士国家試験受験活動とすること。又、各職域部会活動及びその交流研修により、栄養士に対する社会の要求を確認し、日常業務をとおして受験勉強をすると同時に、本会の組織活動としての講習会にも意欲的に参加すべきであります。

烏兔匆匆、21世紀へ突込することは、間近に迫ってまいりました。栄養士が、栄養指導の専門職として、社会に参加するために、昼寝して亀さんに嘲笑される兔でなく、21世紀に飛躍する兔さんになるよう協力して、1987年を頑張り抜きましよう。

カンナのいらない鰹節

焼 津



鰹

の 素

(だしの素)

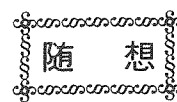
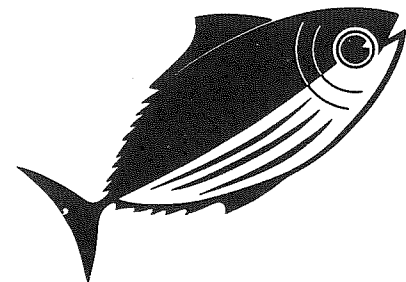
パウミー®

〔製造発売元〕

静岡県焼津市城之腰65の1

株式会社 村松

TEL (05462) ⑧-7371 代表



「コンピュータ栽培と緑野菜物語」

教育養成部会 古山登茂代

セリ・ナズナ・オギョウ・ハコベラなど、春の七草の「寄せ植え」がプレゼント用に、家使い用にと今年も、お江戸のデパートでは人気を呼んだという「ニュース」を正月早々に聞いた時、これから「寒」に入ろうとしているのだがやはり、春に向って行進なんだと心が弾んだ。

甲府盆地の飯田は、昔は田圃の真ただ中だった。今は、甲府駅にも「かすがも一」にも歩いて17～8分とあって、火事が怖い住宅密集地となっている。2階はともかく、坪庭の日照時間は、日一杯とはいかない。お昼をはさんで、その前後が僅か。そこに発泡スチロールの大箱を並べ、ビニールをかけ、大根の葉を囲ってみた、根は言うに及ばず大根そのものとして使えるのは勿論、葉の方は、まわりはだんだん枯れてしまう、しかし、中心は短かく、ちぢれてはいるが、青葉をやわらかく、立派なお碗の青味、煮物のあしらいとして風格を持つ。

緑部の多い土ネギを同様に伏せ、鉢に、セリ・三つ葉・香菜・あさつき・パセリなどの冬季栽培も始めてみた。ほうれん草・小松菜は残念ながらスペース不足であきらめ、薬味的なもののばかりではあるが、これ等は、乏しい冬の陽をうけて、確実に若芽を成長させている。青いものは、食品群としての緑黄色野菜の域を越えて、薬餌的な意味を昨今は感じてしまう。ともあれ、小家族なので、時々、八百屋さんのものを足しながら、一日として欠かすことなく緑野菜を食卓にのせている。

子供の頃、家で鶏を飼っていた、晩秋からは、冬菜を栽培するなどして、一年中青いものを餌に混合し、黄身の色が濃くなるからなのだと言っていた父の教訓を思い出しながら、ビニールの上に開けた穴から、我が家の青ものの成育状態をのぞく。冬のほうれん草は、アクが少なく、やわらかいはずが、店のものは、どうも軸がかたく、ゆでてさらしてもアクっぽい。が、農家で、自家用に雪の下から採ってきて、ゆでて出してくれるものは、やわらかく、アクを感じない。やはり畑から採りたてという鮮度がさせるわざと思われる。

今、コンピュータで、野菜の水耕栽培が実験段階から実用化へと思考されている。含有成分も論議されよう。食味も問われよう、野菜生産農家にとっては死活問題にもなるだろう。いろいろな事項をはらんでいる。が、技術開発の進歩を止めることは、あらゆる部門がそうであるように、もはや、出来がたい時代の要求とも重なっている。高層ビルで野菜・果物が栽培され、かつての農業従事者は、サラリーマンとして、そこで働くということになり、百姓仕事は、趣味、スポーツのたぐいとなることもあり得るかもしれない。そう言ったとしても、カロチンの錠剤を飲むより、ヘリコプターで運ばれてきた。水耕ベッド栽培のみずみずしいほうれん草を、ゆでて食卓にのせるという料理法が残る方が、人間らしい情感、豊かさを失なわないでいられるかもしれない。と、南アルプスの吹雪と稜線を窓越しに、1987年の新年雑感ではある。（甲府調理師専門学校副校長）

もっと おいしく もっと 元気に!..... 雪印

バター・チーズ・マーガリン・スキムミルク



雪印乳業株式会社

● 甲府営業所

〒400 甲府市北口1の6の4(大成ビル)

電話 0552 (51) 7311

昭和61年度「管理栄養士国家試験合格者の受験体験」

管理栄養士試験を終えて

教育養成部会 塚 原 順 子

私の受験動機は、現在栄養士養成施設校に勤務し、毎年栄養士として巣立っていく多くの卒業生に対する責任を感じていたからです。

5月23日の試験日に向けて勉強に取りかかったのが約3ヶ月前、準備不足の受験勉強でありましたが皆さんにご紹介したいと思います。

まず短期間のため問題集（管理栄養士全科の要点、医歯薬出版株式会社）に的を絞り集中的に問題をこなしました。これは、過去の出題傾向や重要事項を知る上で非常に役立ちました。

しかし、問題集の解き始めは、正解率が低く、私の日常業務が化学系実験の助手であることから栄養学など問題文の語意すらわからない問題がありました。それらについては、ノートに書き出し参考書、辞典等で調べ不得意科目を中心に進めました。

また、重要事項については、例えば、栄養学の消化酵素やホルモンは自分なりに一覧表を作ったり調理学で出題率の高い卵などは卵の調理性といった様に項目ごとにまとめて理解に努めました。

前述の正解率は、国家試験問題の解答がいくつかの専門誌に掲載されます。その各誌の解答に食い違いが生ずる場合がありますので、私の場合、食生活（国民栄養協会）、管理栄養士試験問題解答と解説60年度版（日本栄養士会発行）、管理栄養士全科の要点、3誌の解答、解説のつき合わせを行いました。

そして判断に困難な問題は無解答の対象に扱いました。正確な解答を得るためにこの作業はぜひ必要だと思われ

れます。

次に講習会への参加（管理栄養士試験準備講習会、東京都栄養士会、3月14日から16日の3日間）です。新しい情報の習得、出題傾向把握について少ない時間を有効に利用でき、さらに同じ目標を持つ人の熱意に触れて良い刺激になりました。

最後に、試験日近くなってからしか時間がとれなかったのですが、食生活・栄養学関連の雑誌を読んで最新の情報の収集をしました。利用した主な書物は、食料・栄養・健康 84' 85' 86' 年度版（医歯薬出版）でこれには栄養トピックス、国民栄養の現状、衛生統計が収載されています。また、栄養日本も栄養士の動きを知る上で参考になりました。

以上が学科試験についての勉強法ですが、反省として問題集に偏り過ぎたと思われます。何回も問題を解くうちに本人の理解にかかわらず解答解説を覚えてしまいました。やはり基本的理解の上に立っての勉強が大切であることを痛感しました。

実地試験は、昨年までの栄養指導面接試験から、論文試験に変わりました。合格人数が多数であったためと思われ

ますが、日本栄養士会から傾向問題として食生活指針、成人病予防の食生活について等が提示されましたのでそれについて解答の作成を行い試験に臨みました。

今回の受験を通じて働きながら学ぶということの難しさをつくづく感じました。勉強時間を作ることは大変な

ことだと思いますが、これから管理栄養士試験を目指す皆さん、能率的に時間を使って頑張ってください。

（山梨学院短大食物栄養科）

過去の出題傾向を重点に学習

行政部会 田草川 憲 男

以前私は、管理栄養士というのは、栄養士業務を10～15年以上勤務していれば、無試験で登録出来ると思っていた。ところが、それは昭和38年以前に養成施設に入学していなければ資格がない等の規定があることに気付いた。当時、試験問題を見てもむずかしいというのが実感だった。

それが、栄養士を何年もやっていると、特別勉強しなくてもわかる問題も出てくるものであり、また、「栄養日本」等の情報で、そろそろ管理栄養士を取らないといけないのかなと思うようになった。昭和58～59年ごろから勉強のまねごとを始めた。その頃購入したテキストは医歯薬出版の「管理栄養士試験全科の要点」と中央法規出版の「管理栄養士教本上・下」であった。

本格的に試験を受けてみようと思ったのは、昭和59年の暮ごろである。日本栄養士会編の「管理栄養士試験問題回答と解説」を使用して、過去3年間の問題を重点的に理解することから始めた。これは、以前私が、ある試験問題を作成する時に「過去に出題された問題」を参考にし、問題の難易度を同一レベルにしたからである。また、ただ単に問題を解くのではなく類似した問題を整理しながら行うと理解しやすいと思う。

昨年、5月3、4、5日の連休を利用して東京で行われた日本給食指導協会主催の受験準備講習会を受講しましたが、ここでも、過去の問題を傾向別に分類し、それを講師が解説するといった講習会であったが、これである程度傾向別出題頻度等が再認識できた。

職種がら、国民栄養調査関係の問題については、日常業務の中で常に身近であるため助かったので、最近の国民栄養調査結果については頭の中に入れておいた方が良好だろう。（「国民栄養の現状」第一出版）、また、疾病統計等についても、死因別死亡、出生状況等について出題傾向を参考に一読すると良い（「国民衛生の動向」厚生統計協会）

全体的に、行政に携わっている者の方が有利ようである。というのは、前述の国民栄養調査にしても、健康づくり関係事業、老人保健法関係についても日常の業務で接しているからである。

さて、昨年の試験であるが、合格率については50%以上であったと聞いている。過去の20～30%に比べると大変良い率である。私はこれでもまだ厳しいと思うが、

試験の方法は、問題数150問を午前、午後それぞれ75問を1時間30分づつかけて行う。解答方法は各問に対して「正」又は「誤」の判断をし、該当する欄をマーク（塗りつぶす）する方法である。不正解だと1点減点されるので、不明解な問について、「どちらがよいか、天神さんの……」方式でマークすると大変なことになりかねない。不明解な問について答えないのも、もったいない気持もするのでとても迷うところである。

最後に、実地試験であるが、以前は面接だったようであるが、昨年は、受験者が多いため、論文による試験であった。たとえば「高血圧者に対する栄養指導はどのようにしたら良いか」など他に一題ありどちらかを選択して答えるというものであった。以上、受験者の皆さんがんばってください。（甲府保健所）

初 心 に 帰 っ て

医療部会 白 須 そ の

昨年の第24回管理栄養士試験に駆け込み受験をして幸いにも合格し喜んでいる次第です。考えてみると日頃仕事に追われて情性で栄養士をしていた私にとって、どうしても再勉強しなければいけない時期にきていたのだと思います。今回の挑戦によって色々なことがわかりました。例えば臨床ばかりやっていた私達病院栄養士にとって

行政の行っている地域栄養指導の大切さなども改めて痛感しています。そして私達栄養士はそれぞれの職域を越えて互のレベルアップに努め地域の期待に応えられるよう努力しなければならないと気づきました。もう一つ私事で恥づかしいけれど挙げてみます。私の勤めている所では年六回母親学級の一環として妊娠中の栄養について栄養指導をしています。以前は妊娠期と授乳期に重点をおいていましたが、今では社会的背景や、国民栄養の現状とか、一生を通じて食生活の大切さ、又家族の健康を預る主婦の立場、今後の課題等についても話が進められるようになり、私としては無駄でなかったと思っています。

私達の年齢になりますと、試験といえば気おくれがして尻込みしてしまいますが、あれこれ思案しているより受験と決めて試験勉強を初めることが肝心です。かくいう私も無理かなと思ったり落ちたら恥づかしいと迷いもしたものです。

私が受験勉強を初めた時は何も知りませんでした。同じような人も結構いたと思います。まづ栄養士会の管理栄養士受験教育講座と管理栄養士試験問題と解説そして甲賀先生の管理栄養士教本(上・下)を購入して一通り読み試験科目のうち得意なものの不得意なものを検討して時間の配分をしました。始めてみると解らないことが多く、調べてまとめるのに案外時間がかかり、コピーしたり、切抜きしたり、兎に角時間がないのでせつとまとめ大切な所は二重三重に印をつけ、私なりにやりやすくまとめました。暗記は無理なので、理解するように、忘れたばいのでテレビもニュース以外はみないことにして、毎日でもコツコツ繰り返すようにし、問題集も手固くやりました。

勉強時間は夕食後と決めてやり気がのってくると途中で止めるのも惜しい気もしましたが、明日の仕事や体力の事も考えて休むようにし、日曜日は特に予定せず気分転換にいろいろやりました。そのうちこのやり方がリズムになって調子よくなり何とか一通り終り体調もまあまあで試験日が迎えられました。要するに、マイペースでコツコツやるしかないと思います。

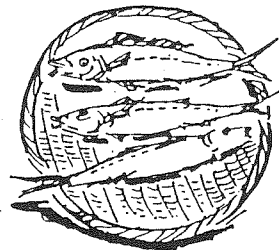
折りしも長寿社会を迎え成人病等の多発で栄養改善の新しい問題が生じ栄養士の出番がきました。栄養指導の実践にあたってよく勉強して精一杯頑張り度いと思っています。(上野原町立病院)

東京築地
直 入 高級鮮魚卸小売

魚 日 出 株式会社

●甲府市相生二丁目3-16 ☎35-7648(代)

代表取締役社長 山田 日出男



健康づくり米食栄養学術講習会を開催して

昭和61年度健康づくり米食栄養学術講習会を大月保健所管内の栄養改善推進員を対象に、11月27日、12月6日の2日間、大月市民会館で開催した。大月保健所並びに白須大月支部長外支部員の支部組織活動としての認識のなかで意欲的な協力により、出席者も100名を数え、効果的に講習を終えることができた。講習内容は、1.県民栄養と食生活指針について、2.米の上手な食べ方、3.調理示範(米をつかった華風料理)、4.山梨県の健康づくり推進事業など講義を主体に実施したが、とくに調理の示範をとりいれたことで好評を得た。その際アンケートを行ったので、結果をまとめた。

1. 主食として朝、昼、夕、主として喫食しているものは米飯である。パン食は以外と少く10%を満たない。朝もしくは、昼に喫食しているが、理由として、家族に高血者がおるため医師の指導によってパン食をしているという解答があった。また、パン食をしないその理由としては、習慣上パン食では満たされないという解答であった。ほとんどごはんが主食として喫食されている訳であるが、古くからの地域的な食習慣とも見られる、夕食はめん類あるいはごはんとめん類という固有の食形態が多く残存している。また、米を主食とした食事を中心であるが、米を食べることが栄養的に好ましくないというような罪悪感に似た感情を多数が持っているように見られる。一方米は力がつくと信じていることも伺われた。米は白米としてほとんどが用いられておる。七分搗米、胚芽米の使用、麦の混炊は10%を割る状況であった。さきに記したように調理は講師の示範であったが実習するよりも、よく理解できたという解答が過半数であった。米の料理についての知識は以外と乏しいと見えて、米の調理講習を希望する受講者が多かった。受講者は50~60才台であった。

一 事務局だより 一

〔1〕 管理栄養士国家試験準備講習会について

すでに61.12.21 試験の概要と学習要領、及び受験の合格体験発表、61.1.18解剖生理を実施しましたが、予定どおり62.2.15生化学(講師東大講師奥恒行先生、62.3.8病理学(講師東京家政大学教授宇津木良夫先生)を中央病院8階会議室で午後1時から4時まで開講します。いままで受講しなかった方も受講するようお勧めします。なお当初計画しました62.3.29の模擬試験と解説は試験期日が公示されてから開講することとしました。いずれ詳細はご通知いたします。

〔2〕 あなたの情報をお知らせください。——会員再登録実施中について——

栄養日本1月号(47頁)に掲載の会員調査票(2月-3月にも掲載予定)を記入上の注意を熟知し、正しく楷書で記入のうえ会費納入時に提出してください。提出期限3月31日まで、なお備考欄に①出身学校、②卒業年月日③管理栄養士の資格者は資格取得の種別(例えば管理栄養士養成施設、国家試験、特例の別)を記載して下さい。

〔3〕 栄養士会員の章の取扱について

栄養日本1月号に掲載(46頁)の栄養士会員の章を希望する会員は要領をご承知のうえ申し込んでください。

〔4〕 昭和61年度栄養改善大会の開催について

山梨県と共催で次のとおり開催しますので多数ご参加ください。(1)とき 2月5日(木)午前10時から午後3時まで、(2)ところ 山梨学院大学メリアルホール、(3)内容 式典、事例発表(減塩運動推進活動)展示 講演「健康づくりと食生活」~飽食のなかの栄養問題 講師 医事評議家 西来武治先生(午後1時から)

〔5〕 県栄養士研修会の開催について

(社)山梨県栄養士会共催

(1) とき 3月12日(木)

(2) ところ 山梨学院大学

(3) 講演 「味と食物」 おって詳細はご通知します。

〔6〕山梨県知事候補望月幸明氏を推せん

昭和61年度定期総会（5月30日開催）において、本会顧問望月幸明氏に対し三選出場要請を決議し、要請書を提出（6月11日）しましたが、第5回理事会（12月20開催）において、知事候補者として推せんすることを議決。12月20日深山会長が推せん書を候補者に贈呈いたしました。今回の選挙は信任投票だと言われます。棄権のないようお願いします。

〔7〕厚生大臣表彰者受賞祝賀会を開催

12月20日（土）竹口、中村両氏の栄誉を賛え、永年のご苦勞にお応えするため、岡島ローヤル会館で祝賀会を開催いたしました。来賓、会員の方々60余名を数え、盛大に会を閉じることができました。また当日ご都合でおいでになれなかった30余名の方々からも記念品代を頂戴いたしました。ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

〔8〕理事会の開催状況

第4回理事会 10月31日 於 本会事務局

議 事

- (1) かいじ国体及び全国身体障害者スポーツ大会協力事業の総括
- (2) 県委託事業（在宅栄養士活用システム整備事業）の実施について
- (3) 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会の開催について
- (4) 健康づくり米食栄養学術講習会の開催について
- (5) 第2回山梨県健康フェスティバル後援について
- (6) 昭和61年度栄養改善大会の実施について
- (7) 管理栄養士国家試験準備講習会の開催について
- (8) （社）日本栄養士関東ブロック会長会議について
- (9) 厚生大臣表彰被表彰者（竹口はる子、中村大家氏）の祝賀会の開催について

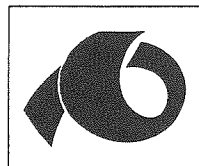
第5回理事会 12月20日 於 岡島ローヤル会館

報 告

議 事

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| ① かいじ国体関係について | ① 在宅栄養士活用システム整備事業（山梨県委託事業）について |
| ② 健康づくり米食栄養学術講習会について | ② 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会について |
| ③ 昭和61年度甲府支部総会について | ③ 昭和61年度栄養改善功労者知事表彰について |
| ④ 山梨県健康フェスティバルについて | ④ 昭和61年度栄養改善大会について |
| | ⑤ 「栄養やまなし」の発行について |
| | ⑥ 山梨県知事の選挙について |

●企画からカラー印刷まで



OZAWA PRINT INC.

有限会社 **オザワプリント社** 〒400 甲府市中央3丁目8-10
TEL 0552-35-6010 (代)

★ 賛助会員名簿 ★ （順不同）

昭和61年8月末日現在

商 社 名	電話番号	代表者氏名	業務内容
イカリ環境サービス(株)	0552-32-8177	宮 沢 公 広	防鼠害虫駆除
和 泉 屋 名 取 (株)	0552-35-2351	名 取 忠 信	食器、厨房機器
上 田 商 店	055266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく、煮豆
魚 日 出 (株)	0552-35-7648	山田日出男	鮮魚卸、小売り
大塚製薬甲府出張所	0552-76-8581	加 茂 信 泰	ハイネックス、ポカリスエット
オギノ食糧(株)	0552-22-5181	荻野恒男	給食材料
オザワプリント社	0552-35-6010	小 沢 孝	印 刷
木 村 屋 (株)	0552-41-4155	有 賀 充	製パン、和洋菓子
キューピー(株)関東支店	03-320-0800	氏 原 信 夫	ジャネフ、ヘルスフード
(株)くぼた	03-682-6681	窪 田 栄 松	煮 豆
甲 信 食 糧 (株)	0552-73-4561	中 込 豊 秋	惣菜用食品材料卸
甲 府 東 洋 (株)	0552-73-2511	大 沢 康 二	即席カップめん
シキシマ醤油(株)	0552-24-4415	天野袈裟富	醤油、減塩調味料
信濃化学工業(株)	0262-43-1115	小 野 清	食器、トレイ
武 田 食 糧 (株)	0552-35-1141	武 田 辰 男	醤油、給食材料
(株)日新厨房企画	0552-73-3881	井 上 寛	厨房企画設計管理
白 麦 米 (株)	0556-22-2121	長 沢 利 久	麦の総合食品メーカー、“はつらつ”
ファミリコマー	0552-33-0121	二子石宣威	食品、雑貨スーパー
(株)平 安 閣	0552-22-1111	秋 山 章	結婚式場、儀式産業
丸 十 山 梨 製 パ ン	0552-26-3411	梅 本 薫	パン製造
み し な 食 品 (株)	0552-28-1347	三 科 喜 男	総合食品卸
宮 坂 釀 造 (株)	0552-41-8181	宮坂伊兵衛	味 噌
湊 興 (株)	0552-26-3742	飯 島 忠	鮮魚、煮貝
村 松 商 店	05462-8-7371	村 松 善 八	鯉の素、だしの素
森永乳業(株)甲府営業所	0552-22-7164	塩 出 一 彦	ミルク、乳製品
山梨県製麺共同組合	0552-22-5510	清 水 清 富	製 麺
山 一 水 産 (株)	0552-28-1592	村 田 翠	鮮 魚
山 梨 食 品	055266-5175	成 沢 政 則	給食材料、厨房機器
(有)山梨鶏卵市場	0552-26-0005	細 川 勝 吉	鶏 卵
山梨県豆腐商工組合	0552-28-1675	菊原甲子男	豆腐、大豆加工品
山梨ヤクルト販売(株)	0552-37-8960	上 田 俊 一	健康科学ヤクルト
(株)やまひろ	0552-51-1121	広 瀬 順 作	総合医薬品卸
雪印乳業東京西支店	0425-28-2527	田 川 祐 次	ミルク、乳製品
北沢産業株式会社甲府支店	0552-26-2800	森 沢 茂 男	厨房設計管理
山 梨 県 牛 乳 協 会	0552-24-2201	細 川 勝 人	牛 乳
第一出版株式会社	03-291-4576	栗 田 元	書 籍
(株)修 学 堂	045-252-7242	鈴 木 勝 己	書籍（日本の食文化大系）

ご家族の健康づくりに麦ごはんを食べましょう。

山梨県精麦工業協同組合

甲府市丸の内二丁目38-8 TEL 0552-22-3545

—— 編 集 後 記 ——

- ◎ かすんではいるが、富士山頂がくっきり浮び、庭の片隅の万両は朝の日射しを斜にうけて、いつになく光っている成人の日の朝だ。
- ◎ 今年は卯年、飛躍する年だという。風雪に耐え、枯風に打ちのめされながら木々の芽は春の日を待つて息吹いている。という言葉もある。飛躍するためのエネルギーを蓄積するためにさらに耐も必要だと思う。
- ◎ その反面、駑蕩、ゆとり、うるおい、余裕、長閑という言葉がある。こうした言葉が生活の中に生きていなければならない、栄養士は懸命に働いている。その中から、ゆとりのある生活を少しでも見い出したいものである。
- ◎ 1月号はお願いして随想を執筆していただいた。随想の様なものは文才だけでなく心に静かな時の空費にも似た温かいものがなければ書けないものだと思う。多くの会員がいるのだから随想、随筆、詩等投稿して戴いて紙面を豊かに飾りたいものである。

TN生

東京築地直入 高級鮮魚卸
東洋冷蔵特約販売

マグロのマルダイ



有限会社 マルダイ食品

甲府市国母4丁目21-9

TEL 0552-28-1642
28-1643

みんな管理栄養士になろう

—— 住民の要求に対応するために ——

(社)山梨県栄養士会会長 深山 武

昭和20年に厚生省令をもって制定された「栄養士規則」が、廃止され、新に「栄養士法」が昭和23年1月1日から施行されたが、これは単なる名称法に過ぎないと、栄養士側から改正要求が行われた。一方、全国知事会議などからは、行政簡素化の立前から、栄養士法の廃止が叫ばれるに至った。そこで、吾々は、栄養士会の総力を結集してこれを阻止すると共に、更らに、栄養士業務の活性化を図って、昭和27年には「栄養改善法」の制定を勝ちとった。

然し乍ら、栄養士の社会的評価は依然として低く、栄養士法改正は全会員の強い要請事項として、会の重点活動として取り組まれ、昭和37年の法の一部改正により、管理栄養士が制度化された。この改正法に

第五条の2 栄養士であって次の各号の1に該当するものは、厚生省に備える管理栄養士名簿に登録を受けて、管理栄養士となることができる。

一、厚生大臣の行う管理栄養士試験に合格した者。

二、第二条第1項第1号に規定する栄養士の養成施設（以下養成施設という。）のうち修業年限が4年であるものであって、学校にあっては文部大臣及び厚生大臣が、その他の養成施設にあっては厚生大臣が、政令で定める基準により指定したものにおいて管理栄養士たるに必要な知識及び技術を修得した者。

と規定されたが、この第2号については、養成施設間並びに栄養士側との関係について、種々の疑惑的な風評が流布されたところで、この第2号の規定があったばかりに、今回の法改正に至るまでに、栄養士がカンパを徴収した経費や労力は莫大なものであり全く、徒勞の一語に尽きると断言できよう。それは兎も角、管理栄養士は名ばかりで、栄養士取得の無試験制と相俟って、栄養士の社会的評価を低下しているとは否めないことである。

もともと、私たちの要求している栄養士法は、

- 1) 栄養士の免許は、学校教育法による4年制大学の栄養学部を卒業し栄養士の国家試験の合格者に与えること。

(2頁に続く)

栄養
やまなし

〒400
甲府市丸の内
二丁目38-8
山梨県栄養士会
☎ 0552-22-8593

No. 23
62年 3月

1. 巻頭あいさつ	1 頁
2. 研究生で学んだもの、そして、今	3 頁
3. 栄養指導雑感…〈栄養指導にとまどい〉	5 頁
4. 「レポート」幼児の食生活について	7 頁
5. 事務局だより	9 頁
6. 山梨県消費生活センター「テスト室」から	9 頁
7. 編集後記	12 頁
8. 賛助会員名簿	13 頁